

# 万葉園だより

第43号

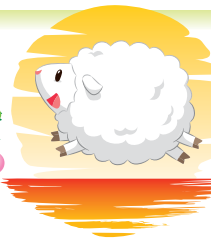
平成27年1月10日 発行

編集・発行 社会福祉法人 南相馬福祉会

特別養護老人ホーム 万葉園

〒979-2334 福島県南相馬市鹿島区西町三丁目3番地  
TEL(0244)67-1551 FAX(0244)67-1552  
TEL(0244)67-1554(たんぼぼ直通)  
E-mail manyouen@orion.ocn.ne.jp  
URL http://minamisoma.ask-daiko.co.jp/

〔事業内容〕  
特別養護老人ホーム 万葉園………定員50人  
グループホーム たんぼぼ………定員9人



クリスマスから  
お正月へ



新年明けましておめでとうございます。  
本年も万葉園、たんぼぼをどうぞよろしくお願ひ申し上げます。  
全人口の4人に1人が後期高齢者という超高齢社会への突入まで、いよいよ10年をきります。今年4月に施行される改正介護保険法では、要支援者への介護予防サービスの市町村地域支援事業への移行、地域包括ケアシステムの構築など、市町村行政の果たすべき役割がますます大きくなってきています。  
一方、医療・介護業界は、慢性的な人手不足による人材確保が急務であると同時に、不安を抱える一般家庭の助けとなる正しい情報発信と業界のイメージアップにも取り組まなければなりません。万葉園では、昨年より「持ち上げない介護」や「介護力向上委員会」でより負担の少ない介護技術の向上に取り組んでおり、これらを地域の皆様にも情報発信できたらと考えております。  
万葉園増床工事も当初予定より遅れてはありますが、地域の念願である短期入所床の整備により、在宅介護者の負担軽減の為に職員一丸となって取り組んでいます。



新年のご挨拶

菅原

万葉園施設長

武





## クリスマス会

12月25日(木)クリスマス会が行われました。大食堂に皆さん集まり、生クリームやフルーツでデコレーションされたホットケーキ、色とりどりのケーキ、いつもよりちょっぴり豪華になったおやつを、好みの飲み物で美味しくいただきました。



サンタクロースからのプレゼントをお一人おひとり手わたされ記念撮影。笑顔がいっぱいの楽しいひとときとなりました。



## 不在者投票

平成 26 年は選挙の当たり年なのか？知事選・市議会議員選そして衆議院選。

各エリアに選挙公報を渡すと「どの人にしようか？」と悩んでいるご利用者もいらっしゃいました。

世の中が少しでも良い方向へ行くよう、大事な一票を投じました。



## 食事委員会

万葉園では、毎月第三火曜日の昼食時に出勤日を設けています。

真剣にメニュー表をご覧になり「これ美味しそうだなー」などご利用者同士で話されながら注文されます。

いつも以上に満面の笑みで食事を楽しまれています。



## 小高区小学生来園

12月3日(水)に、小高区の福浦小学校・鳩原小学生・金房小学校の皆さんをお迎えして交流会を開催しました。

《あおぞらエリア、ふるさとエリア》《ほのぼのエリア、いきいきハウスエリア》《たんぼぼ》に分かれ、それぞれ工夫を凝らしたふれあいの時間をご利用者と一緒に過ごしました。童謡の朗読や、綾取り等、どれもご利用者が昔を懐かしむような出し物でした。そのあと大食堂において、踊りの披露とリコーダーの演奏が行われました。

みなさん、お孫さんを見るような表情でご覧になり、大変満足された様子でした。

機会があればぜひまたこのような交流会を開催したいです。



# グループホーム たんぽぽです



寒さ厳しき折、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。たんぽぽでは新たに3名の方が入所され、皆さん元気に新年を迎えられています。

さて、先月の話になります。先月、竜巻舞踊教室の皆さんが日舞の披露に来園してくださいました。当日は万葉園のご利用者も参加され、一時間ほど日舞を鑑賞したり、一緒に歌を歌った後は、テーブルを囲んでお茶会を行いました。日舞の披露には「また来てもらいたい」との声が多く聞かれ、お茶会でも話が弾み、楽しまれたようでした。

『施設』と聞くと外の環境からは孤立したイメージがあるかもしれませんが、今回このような会を開くきっかけとなったのは、職員が通うジムでの知人だったという繋がりがあったためです。もともと南相馬市で生まれ育った利用者の皆さんは、地域の方々との関わりをとて喜ばれます。お近くにお越しの際には、お茶でも飲みにお立ち寄りください。



# なごみの家

東日本震災による休止、そして平成24年1月11日の再開以来、鹿島区地域住民の皆様、県内外のボランティアの皆様には大変お世話になりましたが、諸般の事情により平成26年12月31日を持ちましてグループホームなごみの家は、事業を休止する運びとなりました。

寺内塚合仮設住宅住民の皆様には、行事を通し交流の場を作っていただき大変感謝しております。せっかく慣れ親しんできた地域を離れることは非常に残念です。皆様のご厚情に心から感謝申し上げますと共に、突然の休止でご迷惑をおかけしますことを深くお詫び申し上げます。



## 万葉園増床工事進捗状況Ⅲ

増床ユニット分の備品関係の選定に忙しい時期となっておりますが、今回はこれら選定備品の中で、ベッドと車いすについてお話しします。

特養において職員が多く時間を要すると共に、危険でご利用者への負担も大きい介助が移乗介助です。今回、これらの介助においてご利用者・職員共に負担なく、より安全に移乗できるような介護用品を選定しました。

ベッドからの移乗パーには膝の位置にパッドがあるタイプのものを選びました。このことにより移乗時の「膝折れ」を防止し、より少ない力で臀部を浮かせることができ、介護者の腰への負担が大きい「前方介助」から負担が少ない「後方介助」を安心して行うことができます。これに肘掛跳上げ&足台スイングアウト機能のあるセミモジュール型車いすを併用することで、スライディングシートやトランスファーボードが活用し易くなり、こ

れまで万葉園で取り組んできた「持ち上げない介護」の実施がより容易にできるようになります。

これら以外にも、職員のマンパワーだけに頼ることなく、ご利用者に安全で負担の少ない機能のついた介護用品を整備したいと思っています。

- 移乗用具(スライディングシート/トランスファーボード)を使用する際も、「ひざ折れ」の心配がなく、安心して使用できます。
- 介助者の腰への負担が大きい「前方介助」から、腰への負担が少ない「後方介助」を安心して実施することが可能です。



スライディングシート 使用例



トランスファーボードを使った後方介助



## 認知症内部研修

例年の「認知症の内部研修」は、認知症についての外部研修へ参加した職員の伝達講習という形で開催していました。

今年は方法を変え、事前に提示した5つの事例について、どのような対応策があるかを各自考えて来てもらい、研修ではその中の1つの事例を決め、検討をする方法を執りました。

事例検討では、各自考えてきた認知症の方への対応策、意見等を発表してもらいました。色々な見方、考え方、また、日頃の業務と照らし合わせての介助方法など意見交換にもなり、大変活発な研修会となりました。

介護経験の浅い職員は、コミュニケーションの取り方に苦慮しながらも寄り添う様子が見られ、また経験を積んだ職員については、そのご利用者や家族の心情にまで踏み込んで対応しており、それぞれに認知症ということをよく理解していると感じました。

認知症の方への対応には、これが正解、これは不正解とはっきりとしたものはないと思います。まずは、お一人おひとりの今の世界へ入り、その世界をどれだけ受容し、共有できるかが大切であるという意見が多かったようです。

今回の認知症研修は、認知症についての各職員の理解や考えを知り、そしてそれぞれに真摯な対応を行っていることを確認する良い機会になりました。

副施設長 山田 裕子

## 研修に参加して

平成26年10月1日に郡山市のユラックス熱海で開催された認知症高齢者対応研修に参加しました。認知症といっても様々な種類があり、その種類に応じて症状や対応、進行の仕方が異なってくるなど詳しく学ぶことが出来ました。

普段接しているご利用者はどんな認知症なのか？どの段階まで進行しているのか？をよく観察し理解した上で、対応することが必要だと感じました。認知症というとすぐに物事を忘れてしまうイメージがありましたが、強烈な印象のあることはいつまでも記憶に残ることを研修で学びました。万葉園のご利用者でも、普段はすぐに忘れてしまう方なのに、ある物事を何時間も覚えていたことがあったことを思い出しました。認知症だからと言って何も出来ない決め付けるのではなく、よく観察し何が出来て・何が出来ないのかを理解し、それに依って残存能力を活かすことが大切だと感じました。

今までの自分の業務を見つめ直し、今後に生かして行きたいと思います。

介護職員 今野 翼

永戸 山田 引地 今野 牛来 鈴木 村田 道中 小嶋	遠藤	寄	寄
潮 恵子 節子 富子 憲一 正昭 ヒデ	晋一	贈	付
さんま みかん お菓子類 りんご りんご りんご	梨	平成26年9月18日〜12月10日まで	平成26年9月18日〜12月10日まで
	毛糸のクッション		
	毛糸の座布団		



## 介護力向上勉強会

昨年、厚生労働省が「職場における腰痛予防対策指針」を改訂した事で、万葉園でも持ち上げない介護を考えるようになりました。

各エリアで福祉用具を用いたり、新しい介護技術を取り入れたり、試行錯誤しながらご利用者と一緒に安全・安楽な介護方法を考え実践していました。そんな時に、各エリアから『介護力を高めていこう』『統一したケアを実践していこう』との声上がり、10月31日(金)介護力向上委員会の第1回目の勉強会を行う事になりました。

勉強会では、ビデオやワークシートを活用して、経緯や経過・介助方法・リスクマネジメントを学び、その後で福祉用具などを体験し、技術では、スーパートランスを体験しました。19時40分と遅い時間からの始まりとなりましたが、多くの職員が参加し、予定の時間が過ぎても役割を代えながら何度も行っていました。

こうした勉強会は、今のご利用者だけでなく、日々変化していくご利用者のADLにも対応できる技術や知識だと思いますので、テーマを変えながら今後も継続して行っていきます。

介護職員 寺岡 孝文



## ボランティア紹介

平成26年9月18日〜12月10日まで



- 日舞披露
  - 竜優季舞踊教室様
  - 交流会
  - 福浦・鳩原・金房小学校様
  - 随時
  - 万葉園ボランティア様
- (洗濯たたみ、クラブ活動、演奏など)